

大会開催における新型コロナ感染対策ガイドライン

全日本学生拳法連盟会長

大会会長 藤川 義人

大会名称 第37回全日本学生拳法個人選手権大会
開催日時 令和4年10月23日 12時30分開会
開催会場 名古屋市パロマ瑞穂アリーナ

本大会開催に際しましては大会役員で種々討議を重ねて参りました。現在、コロナウイルス感染防止については、緩和の方向も聞かれる中、BA・5の感染拡大も懸念されています。この社会状況を鑑み、専門家「感染症専門医」と感性防止対策指導をもとに大会主催者としてのガイドラインを作成し、このガイドラインを遵守することで本大会開催を決定致しました。しかしながら、変化する社会情勢(コロナ感染状況)をリアルタイムに検証し、大会中止も視野に入れて冷静着実に判断致します。

感染予防対策ガイドライン

- 選手・指導者・大会役員は大会開催日より逆算して2週間分の体調管理(体温37.5度以上、その他の体調不調)して保管しておく。体調不調の者は参加させない。なお、同居家族の体調不良についても報告することとする。
- 選手・指導者は代表監督の責任において確認管理する。
- 大会役員は大会会長の指導のもと各部署で確認管理する
- 3階観客席(選手・指導者、関係者、保護者、OB 等待機場所)4カ所・メインアリーナ入口4カ所に消毒液設置
- 会議室・大会運営本部のキャパに合わせて入場制限する。
- 開会式・閉会式は行わない。(開会宣言は行う。)
- 各大学敗戦者は順次帰宅。
- 入賞者は大会終了後アリーナにて表彰状・副賞の授受を行う。
- メインアリーナには観客席配置は行わない。観客席は3階のみに配席。
- メインアリーナには選手以外は、防具・水分補給等、マネージャー(世話係)のみ入場可
- 一般観戦者の入場は不可とする。応援団の参加は見送る。
- 選手・指導者・観客共に声援は行わず応援は拍手とする。
- 選手の給水は各自個別のものを準備する。
- 入場者全員、こまめな手洗い。うがいの励行。
- 大会会場内の全参加者(含む保護者・OB等観客)のマスク着用義務。
- 各大学でマスク予備相当数を確保して持参する。
- **試合時における選手も面下にマスク着用義務。鼻を出すことは可。マスクの色については原則白色(白色に近い薄灰色、薄肌色については認める。)フェイスシールドは破損・怪我の恐れがあるため禁止する。プラスチック製エアベンチレーター付きスポーツマスクはベンチレーターが外れたり、破損する恐れがあるため禁止する。**
- 大会中・大会終了帰宅後でも体調変化・体調不良が確認された場合は、速やかに大学指導者に報告して指示に従うと共に大会主幹団体委員長に報告すること。
- 本大会参加大学は大会終了後2週間目に最終安全確認を各方面委員長に行う。

- 食事は決められた場所以外では禁止し、食後の始末は各自主催者ルールを順守する。
各大学・各個人で発生したゴミはすべて持ち帰ること。
- ※ 近年、観覧席、大会会場施設内、大会会場付近への弁当やペットボトル等のゴミを置いてい
かれる事例が発生しています。大会会場内にはゴミ箱は設置されていません。※自販機横に
缶・ペットボトル用ゴミ箱はあり。
出場者・観覧者によるマナー違反によって、施設側とのトラブルになり、この大会だけでは
なく、「日本拳法の大会はマナーが悪い。」と見られ、翌年度からの日本拳法大会全体の会
場確保に大きく影響します。